

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハイタッチ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、児童からの満足度が高い。	子どもたちの特性等に配慮しながら楽しんで取り組める活動の立案に努めています。運動レク・知育レクを通してみんなで楽しく遊ぶ・競い合う、音楽レク・創作活動を通して表現する楽しさを感じる等を目的に据え、活動が固定化しないように工夫しています。 長期休みや土曜日等は普段できない活動(課外活動・体験活動等)の充実が図れるよう意識し、子どもたちの意見も取り入れながら活動立案に努めています。地域のイベント等の参加、公園利用、地域施設の利用をしながら、公共でのルールやマナーを学んでいけるようにしています。	集団活動だけでなく、個別支援や専門的支援にも取り組み、子どもたちそれぞれの特性や課題に寄り添った支援にも力を入れてまいります。 幅広い年齢の児童が在籍しているため、理解力や運動能力等に配慮しながら集団で楽しく取り組める活動の考案を今後も努めてまいります。異年齢の交流を大切に、様々な関りから社会性を養えるように支援してまいります。
2	他の事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス)との交流会を通して地域の他のこどもと活動する機会を設けている。また、就労支援体験も行っている。	児童発達支援事業所でのペアサートの披露やレク交流、交流事業(スポレク大会・陸上大会、野外炊飯など)として事業所連絡会や他事業所と連携を図りながら、交流会を企画しました。地域社会と繋がる経験をする事を目的に今後も様々な活動企画をしております。	交流事業には多くの事業所に参加していただき、こどもたちも貴重な経験・体験をする事ができました。今後も続けていきながら多くの事業所・子どもたちと交流できる機会の提供に努めてまいります。 学童等との交流がまだできていないため、交流の機会を設けていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設ける事が出来ていない。	事業所としての家族支援プログラム等の開発が不十分であるため、研修会や情報提供の機会を設ける体制を整える事ができていないと考えています。また、外部からの講師を呼ぶという事に関しても苦慮している状況となっております。	他事業所や連絡協議会等と関わりながら、外部講師とも繋がれるよう取り組んでおります。様々な機関と連携しながら研修会等が開催できるように努めてまいります。
2	保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会を設けることができたが、参加人数が少なかった。	保護者会を開催し、事業所を卒業した高校生の子を持つ保護者の体験談等を交えながら様々な意見交換等を行いました。参加した保護者からは「良い機会になった」とお褒めの言葉を頂けましたが、参加人数自体は少ない状況でした。どのような会になるのか?という不安、自身の悩みを打ち明ける事に不安がある等様々な理由があったと考えられます。	初めての開催ということもあり、参加することに不安を感じる保護者様は多かったと考えています。保護者会の趣旨等を明確にしながら気軽に参加できる環境作りに取り組んでまいります。また、どのような交流を行いたいかなどのニーズの把握にも尽力してまいります。
3			